

国 2 次計画の指標との関連

国 2 次計画

県 1 次計画

1	食育に関心を持っている国民の割合の増加	1	食育に関心のある県民の割合の増加	
2	朝食または夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加	2~9	朝食を欠食する県民の割合の減少（小学5年生～30歳代女子）	
3	朝食を欠食する国民の割合の減少	10	食育に関する活動や行動を実践している県民の割合の増加	
4	学校給食における地場産物を使用する割合の増加	11	毎日朝食を摂るなど規則正しい食生活に努めている県民の割合の増加	
5	栄養バランス等に配慮した食生活を送っている国民の割合の増加	12	家族や友人と食卓を囲み、食事を楽しむ機会を増やすなど、食を通じたコミュニケーションを充実させている県民の割合の増加	
6	内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している国民の割合の増加	13	市町村食育推進計画を作成・実施している又は作成中の市町村の増加	
7	よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある国民の割合の増加	14	食に関する指導全体計画を作成している学校の割合の増加（公立小学校・中学校・特別支援学校・夜間定時制高等学校）	○
8	食育の推進に関わるボランティア数の増加	15	「いきいきちばっ子」学習ノートを授業に活用している小学校の割合の増加	
9	農林漁業体験を経験した国民の割合の増加	16	学校給食における県産物の使用割合の増加（食材数ベース）	
10	食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている国民の割合の増加	17	学校給食における県産物の使用割合の増加（重量ベース）	○
11	推進計画を策定・実施する都道府県及び市町村の割合の増加	18	完全給食を実施している公立学校における1週間当たりの米飯給食実施回数の増加（公立小学校・中学校・特別支援学校・夜間定時制高等学校）	
		19	地域、家庭、学校が連携して子どもを育てているという環境が整っているという肯定的に回答する保護者や地域住民の割合の増加	○
		20	近隣の学校や地域の保健センター、公民館等との食に関する連絡協議会等がある割合の増加	
		21	小学生の肥満傾向児の割合の減少	○
		22	食育の計画づくりに取り組んでいる保育所の割合の増加	
		23	食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている県民の割合の増加	
		24	外食や食品を購入する時に栄養成分表を参考にしている県民の割合の増加	
		25	教育ファームの取組がなされている市町村の割合の増加（市町村、学校、農林漁業者等の様々な主体のうち、2つ以上の主体が教育ファームに取り組む市町村）	○
		26	観光農林漁業入込数	○
		27	郷土料理や伝統食について「知っているものがある」、「食べたことがある」県民の割合の増加	○
		28	「千葉県産農産物」を購入したいと思う県民の割合の増加	
		29	ごみを少なくする配慮や工夫をし、リサイクルをしている県民の割合の増加	
		30	食べ残しを減らす努力をしている県民の割合の増加	○
		31	内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）を認知している県民の割合の増加	
		32	自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思う県民の割合の増加	○
		33	自分や家族の健康について満足していると思う県民の割合の増加	
		34	「食事バランスガイド」等の食生活上の指針を参考に食生活を送っている県民の割合の増加	
		35	栄養バランスの優れた「日本型食生活」の実践、野菜摂取量を増やす、油の多いものを控えるなど、栄養バランスに気をつけている県民の割合の増加	
		36	自分の食生活に問題があると思う者のうち、改善意欲のある者の割合の増加	
		37	「日頃から日常生活の中で、健康の維持・増進のために意識的に体を動かすなどの運動をしている人」の増加	
		38	自らも料理に取り組んでいる県民の割合の増加	○
		39	健康ちば協力店数の増加	
		40	食育の推進に関わるボランティア数の増加	○
		41	ちば食育ボランティアの活動報告数の増加	
		42	食育推進に関わるボランティア活動への参加意欲のある県民の割合の増加	

○は目標値を達成している項目↑